



# 第2回植樹祭 約500名参加

～ 5月23日 約2ha 10,000本のクロマツ植栽 ～

数百年先の将来に渡り、ふるさとの風景としてクロマツ林を守り育てていく名取市民を中心に、宮城県にお住まいの多くの方に植栽を通じ、クロマツに少しでも愛着を持っていただこうと、今年は定員を増やして実施。昨年より約150名多い500名が植栽を体験しました。

プロジェクトへのご理解が深い名取市の佐々木市長も他の参加者とともに約30本のクロマツを植栽してくださいました。次世代を担う園児、小学生の参加者も増え、「名取市民の森」が脈々と受け継がれていくことを願っています。



(上)名取市長も鍬をふるい植栽してくださいました



(右)大人にまじり子どもも参加。森林組合の指導員の方に植え方を丁寧に教えてもらい、自分の手で植栽をしたことは、ずっと忘れることはないだろう

## ホームページが新しくなりました!

より見やすい、より分かりやすい情報提供をするため、改修を進めていたホームページが完成間近です。【個人でのご支援】【法人でのご支援】ページは9月10日完成し、その他は9月下旬にかけて順次公開していく予定です。

これまで撮りためたプロジェクト発足当初からのベストショットを、新設のフォトギャラリーや年表などでご覧いただけるようになります。また、ボランティアの活動レポートは写真入りで紹介しています。ぜひアクセスしてみてください。

### ☆ブログ「いいね!」ランキング☆

- 1 いいね! 66 「ボランティア募集開始」 (2014年2月12日)
- 2 いいね! 65 「御礼」～プロジェクト担当者より～ (2012年5月10日)
- 3 いいね! 62 「7万本の床替移植完了!!」 (2013年4月22日)

日々のあれこれや、「ポスト2020」の真面目な内容まで、人気のブログは今までどおり!

ボランティア活動レポートを写真入りで見やすく掲載

最新ブログの写真が表示されます

フォトギャラリーを新設!過去の写真も一度に見られます!!

ご支援内容・方法がわかりやすいよう【個人でのご支援】【法人でのご支援】を新設しました



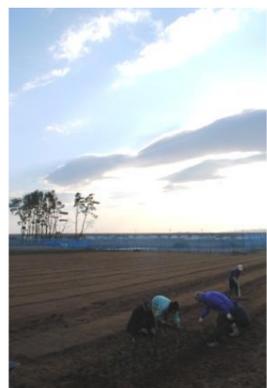
## PHOTO Library



新梢の先端についている濃ピンク色のものが雌花芽(左側)、基部についている茶色のつくしの先端のようなものが雄花芽。マツは雌雄同株



球果(まつぼっくり)は、通常15年～20年経過しないとできないといわれるが、植栽地のクロマツは若干3歳にして結実した。潮風のストレスが起因している。



ミレーの「落穂ひろい」...どこか雲田気が似ていませんか? (育苗場で作業中です)



「クロマツと飛行機」こんなに間近に飛行機が見られる

## 内陸防風林って??

内陸防風林と海岸林は植栽してある場所により呼称が異なり、海岸線沿いにあるのは「海岸(防風)林」、内陸にあるのは「内陸防風林」と言われています。長きにわたり植栽地近くの内陸防風林は、蔵王連峰から吹き降りる強風(蔵王おろし)や海風から家屋やビニールハウス、農地を守ってきましたが、先の震災により約8割が被害を受けました。

今年は、海岸の植栽地に加え、内陸防風林 1.85haの植栽が5月14日から始まりました。植栽樹種はマツノサイセンチュウ抵抗性アカマツを選定。

内陸防風林は、日本全国各地に存在しています。浜松市三方原(静岡県)、田原市(渥美半島/愛知県)、白石市(宮城県)、今津浜(琵琶湖北岸/滋賀県高島市)など、その地域の農地を守り、生活を守り、美しい景観を構成し、先人たちが守り育ててきたふるさとの風景ともいえます。



↑松林のすぐ裏には家屋が立ち並んでいる(滋賀県高島市今津町)



仙台空港近くの内陸防風林。周囲より高く盛土をされている場所に植栽されていたクロマツは津波による被害が少なかった



↑ジャガイモ産地で有名な浜松市三方原地域。ジャガイモの農地も内陸防風林に守られている(静岡県浜松市三方原)

←琵琶湖を南から北へ吹き上がる風から農地や家屋を守るため、北岸には立派な内陸防風林がある。写真右側が琵琶湖の湖面(滋賀県高島市今津町)

## 寄附者プレート完成!

プロジェクト発足当初からこれまでに渡り、ご寄附くださったみなさま(寄附合計金額 法人・団体:10万円以上、個人:1万円以上の方)のお名前入りプレートを植栽地の防風柵に掲示しました。プレートは5×25cmの木製、約700枚が並んでいます。プロジェクト期間が終了する2020年までには、さらに多くのプレートが並ぶことと思います。



## ボランティア報告

今年度も4月から、現場での育苗補助、植栽後管理補助、モニタリングなどのボランティアを実施してきました。4月から8月のボランティアの日参加者は419名、企業・団体単独での参加を合わせると1,360名が汗を流してくださいました。

「いろいろなボランティアをしてきたけれど、ここが一番ハードだったよ」とコメントを残される方が幾人かいらっしゃるほど楽な作業ではありませんが、約3割の方がリピーターとして参加してくださいました。

ボランティアの日の活動報告は、新しくなったWEBサイトに掲載してありますので、ぜひご覧ください。(【個人でのご支援→ボランティアで支援→活動レポート】でご覧いただけます)

(※10月17日(土) 11月21日(土)のボランティアの日の受付は、定員に達したため締め切りました)



オイスカ名取事務所 統括 佐々木廣一

年間1,500人ものボランティアさんが草刈りなどの作業をしてくれるおかげで、クロマツが雑草に勝っています。本当にありがたく感謝しています

ボランティアの日には指導員として参加しています。ボランティアさんの意気込みに圧倒されることもしばしばです



松島森林総合 佐々木勝義さん

### ◆◆ スーパーボランティアさん ◆◆

3回以上ボランティアに参加くださった方に、新米ボランティアさんのリーダーとして活躍していただいています。



スーパーボランティアさんにつけていただく腕章。この腕章をつけてくると繰り返してくださる方もいる

ボランティアの日が始まった時から毎回参加しています。これまで13回...もったかな? 1ヶ月間見ないとクロマツがグンと成長しているんだ



大槻壽夫さん (名取市在住)